

星川だより



熊谷空襲を忘れない市民の会 会報



金子由佳さん講演

「パレスチナ占領50年の今」
を聴いて

鈴木清子



金子さんはパレスチナ自治
区ガザにてNGO日本国際ポ
ランティアセンター(JVC)
のスタッフとして活動されて
きた。JVCの活動は、地元
の女性たちを保健師として養
成し、地域の母親たちへ対面
指導をもらうことで、住
民の衛生・栄養状態の向上、
互いを見守るネットワークの
構築を目指すものだそうだ。
同時にガザの人々の誇りを取
り戻すという狙いもあるとい
う。食糧支援に頼るのが常態
化し、「家畜のように生かさ
れている」といった諦めの思
いを抱く人も多い。そこで、
乏しい食糧でも栄養価を高め

て摂取できるよう工夫す
る、地域に貢献する感覚
を取り戻すことで気力を
養うのだ。国同士の解決
の見通しが見つからない中
も、人々が今抱える問題を軽
減し、希望を持つために心や
体の健康をサポートするのは
非常に意義深いと思う。

お話の中で印象的だったの
は、パレスチナ問題には宗教
や民族対立の側面が確かにあ
るが端的に言えば「土地の略
奪」であり「弱い者いじめ」
だ、との言葉である。194
7年のパレスチナ分割案の国
連による採決がそもそも不当
で、以後ずっと異常な事態を
国際社会が見て見ぬふりをし
ているのだと、現地の問題を
実感されてきた金子さんの言
葉は重い。

また、ガザの暮らしのお話
も忘れられない。4回の空爆
で4000人ものが死に、
うち1400人余りは子ども
を含む民間人だった。民家、
病院、避難所だった学校、工
場、発電所等が破壊され、瓦
礫の撤去も遅々とし再建は進

まない。人の死や爆撃機を描
いた子どもたちの絵を紹介し
て下さったが、子どもたちの
ことを思うとただ胸が詰まる。
パレスチナ人への日常的な暴
力。インフラはイスラエルが
掌握し、一日8時間の停電が
何年も続く。電力不足で上下
水の処理が追いつかず202
0年には上水が尽きるそうだ。
長い経済封鎖で物流が乏しい
等々。先進で豊かな生活を送
るイスラエル人が取り囲むそ
の内側でこれらのことが起き
ている。

安倍首相とネタニヤフ首相
が交わした武器等共同開発の
約束の話も強烈だ。つまり私
たちの税金がパレスチナ人を
殺す武器になるのだ。

また、一般のイスラエル人
はパレスチナの過酷な状況に
ついては、「彼らは何をする
か分からない」「やらないと
やられる」「仕方がない」と
言うそうだ。この言い分は、
北朝鮮問題への備えの強化を
主張する現政権の言い分を想
起させる。
今回金子さんの講演を聞き、

彼の地でこの瞬間も過酷な生
活を強いられている人たちの
存在を意識に留めたいと強く
思うと同時に、日本のこれか
らを考える上でも私たちはパ
レスチナ問題を自分事として
受け止め関わっていく必要が
あると感じた。

講演の最後に金子さんと親
交のあるイスラエル人のダニ
ー・ネフセタイさんが登壇し
て、ホロコーストを経験した
ユダヤ人がどうして?といっ
た疑問に答えるなど、絶対的
優位な状況で武力攻撃をする
イスラエル側の論理にも触れ
ることができた。人間の持つ
理性など簡単に超越してしま
う戦争の実態を改めて認識す
ることが出来た。



佐藤加奈世(フルート)さんと茂木伸夫(ギター伴奏)
さんによる沖縄の曲を中心した演奏会の模様

投稿

フランク パブロフ物語

藤本一勇訳

「茶色の朝」

落合 正史



分の生活を続けている。それを見て
「きつと、心配性の俺がばかなんだ...」と。
まるで、街の流れに逆らわな
いでさえすれば安心が得られ
て...

茶色に守られた安心、それも
悪くない...

やがて、かつて茶色の犬を
飼っていたという理由で友人
が逮捕される。

茶色党のやつらが、最初にベッ
ト特別措置法を課してきやがっ
たときから警戒すべきだったん
だ、いやだといべきだったんだ、
抵抗すべきだったんだ、でもど
うやって?

政府の動きはすばやかだったし
俺には仕事があるし、他の人た
ちだってごたごたはごめんだか
らそして...

高橋哲哉さんが『やり過ぎ
さないこと、考え続けること』
と題してメッセージを寄せて
いる。

なぜ茶色なのか、茶色以外
のものが存在を許されなくな
っているのかを解説し、登場
人物が「茶色」を受け入れて
いく時に 持ち出す様々な言
い訳と同じような理由をつけ

て我々も現状を受け入れてい
るのじゃあないかと警告する。
「彼らが最初共産主義者を
攻撃した時、私は声を上げな
かった 私は共産主義者では
なかったから」と、いう有名
な言葉があるが、この「茶色
い朝」はそれほど声高に警告
を発しているわけではないが、
現在の世の中の流れに対して
「手遅れ」にならないように
声を上げなければならぬ、
行動しなければならぬ、面
倒なことにも関わっていか

ければならないと訴えている。
是非一読を勧めたい本だ。
まさに手遅れにならないうち
に。
(大月書店 定価千円十税)



報告 八月は広島・長崎の原爆忌、ポツダム宣言の受諾そして敗戦
と、多くの地域でお盆と重なることもあり、日本列島は鎮魂に包ま
れます。熊谷でも中央公園で平和の鐘が鳴らされ、星川では灯籠流
しが行われます。今年も、テレビや新聞などの特集も力が入って
いたように思います。そんな中、私たち熊谷空襲を忘れない市民の会
に対してマスコミから取材がありました。まず、毎日新聞の特集「語
り継ぐ2017年夏」(八月九日第一回)の連載に当会共同代表の
米田さんが取り上げられました。そして、八月一日、文化放送の
「斎藤一美 ニュースワイドSAKIDORI」に、同じく米田さん
がインタビューに答える形で出演しました。場所は星川のみんなの
家からの生中継でした。
八月二七日、9条の会・熊谷との共催で、「パレスチナを想う」
〜フルートの演奏と金子由佳さんのガザ報告を、荒川公民館で開催
しました。参加者は七二人でした。
※月一回定例会を開催しています。会員の皆さん是非参加してください。

くらしのセミナー第4回
「公正な税のあり方についてみんなで考えてみよう」
講師 内田麻由子さん (税理士)
日時 10月1日(日) 14:00~16:00
場所 市民プラザかぞ 1F 視聴覚ホール
加須市中央2丁目4-17
資料代 300円
主催 民主主義とくらしを考える会
070-5551-7734 (東)

くらしのセミナー第5回
「あなたの職場、大丈夫?」(働き方のルール)
日時: 11月19日(日) 14:00~市民プラザかぞ
講師: 小内克浩さん(弁護士) 301会議室



～ キャンパのお願い ～

熊谷空襲を忘れない市民の会では、広く活動費用を募るため口座を開設しました。ご協力のほどよろしくお願ひします。なお、会計報告はこの紙面により行います。

ゆうちょ銀行
口座記号・記号: 00100-7-265321
加入者名: 熊谷空襲を忘れない市民の会
口座名称カナ: クマガヤクウシュウヨワス
レナイシミンノカイ

他行からの振り込みの場合は
店名(店番): 〇一九店(019)
預金種目: 当座
口座番号: 0265321

会計報告 (2017/05/27~2017/09/19)
収入: 38,050円
支出: 23,554円
残高: 98,059円

編集担当者を募集します。
編集委員 吉田庄一 米田主美
連絡先 吉田庄一 (090-4957-9181)
メール imajin241@gmail.com